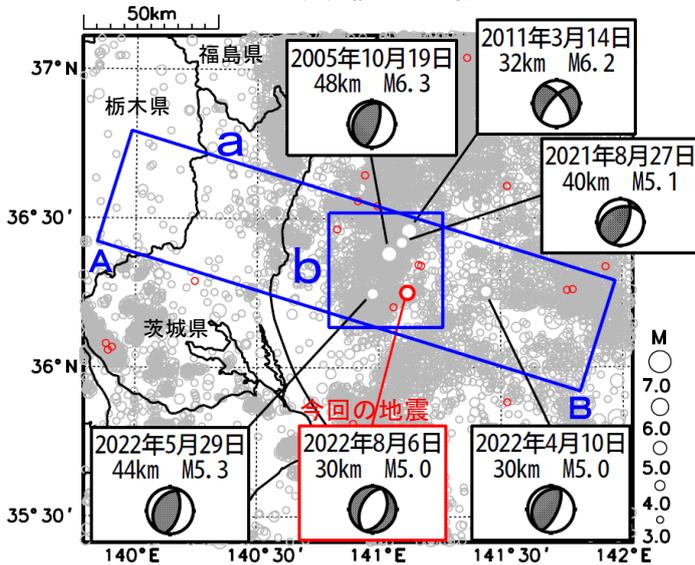


## 8月6日 茨城県沖の地震

震央分布図  
 (1997年10月1日～2022年8月31日、  
 深さ0～120km、 $M \geq 3.0$ )  
 2022年8月の地震を赤色で表示  
 図中の発震機構はCMT解

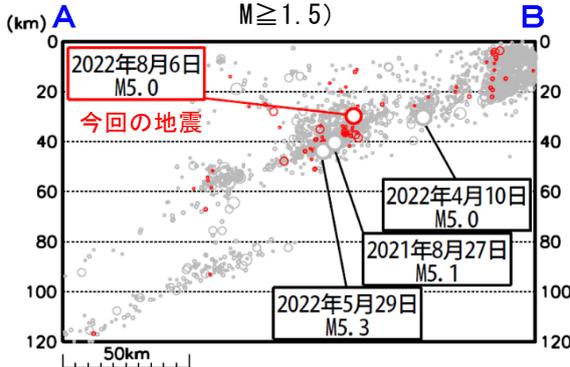


2022年8月6日21時23分に茨城県沖の深さ30kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震は陸のプレート内で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

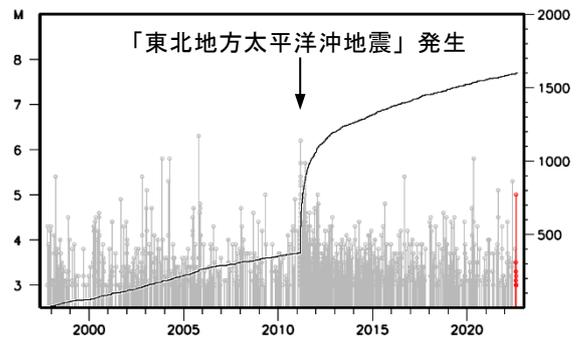
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震の発生数が増加した。2011年3月14日にはM6.2の地震（最大震度5強）が発生した。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。1938年5月23日に発生したM7.0の地震では、福島県小名浜で83cm（全振幅）の津波が観測された（「日本被害地震総覧」による）。また、2011年3月11日15時15分に発生したM7.6の地震（最大震度6強）は、「東北地方太平洋沖地震」の最大余震である。

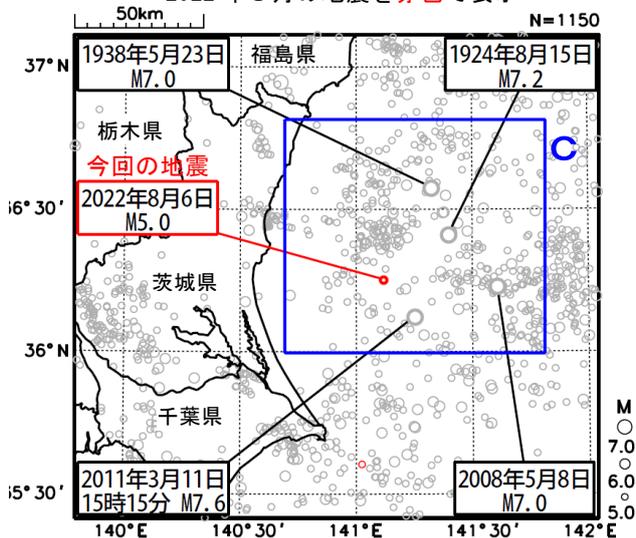
領域a内の断面図（A－B投影）  
 (2020年9月1日～2022年8月31日、  
 $M \geq 1.5$ )



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
 (1919年1月1日～2022年8月31日、  
 深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ )  
 2022年8月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

